エコアクション21
環境活動レポート

（2017 年 3 月～2018 年 2 月）

2018 年 5 月 25 日

アシナ環境管理センター有限会社

®環境省
エコアクション21
認証番号 0004595

【　目　次　】

１．	組織の概要	３～５
２．	環境方針	５
３．	環境目標	６
４．	環境活動計画	７
５．	環境目標の実績	８
６．	環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容等	９
７．	二酸化炭素排出量の実績	１１
８．	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	１１
９．	代表者による全体評価と見直しの結果	１２
１０．	環境保全活動	１３

１．組織の概要

・ 事業所名及び代表者氏名

アシナ環境管理センター有限会社　　代表取締役　土井 美智雄

・ 所在地

広島県福山市新市町戸手 1139－1

広島県福山市新市町新市 913－2　（車庫）

・ 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者　土井　美智雄

TEL 0847－52－6525　　FAX 0847-51-8399

・ 事業の内容

浄化槽保守点検業	一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業	建築物飲料水貯水槽清掃業
消防設備点検業	管工事業

・ 事業の規模

売上高	5,301 万円（2017 年度）
従業員数	7 名
延べ床面積	196 ㎡

・ 法人設立年月日

1988 年 3 月 1 日

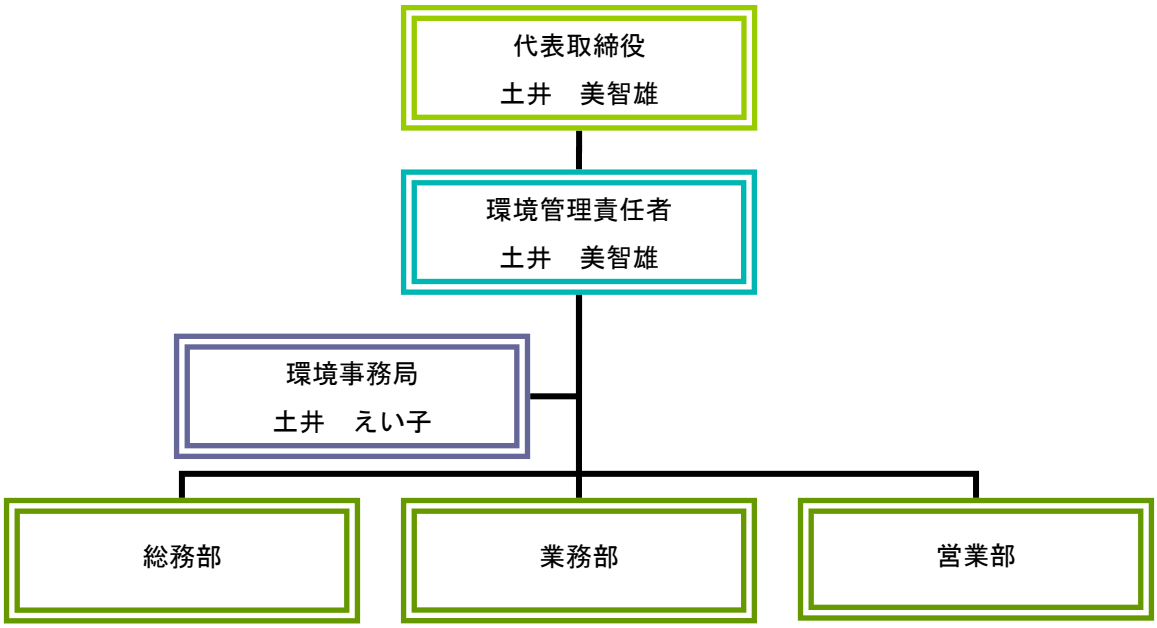
・ 資本金

500 万円

・ 対象範囲

（１）認証登録番号	0004595
（２）認証・登録事業者	アシナ環境管理センター有限会社 広島県福山市新市町戸手 1139-1
（３）認証・登録の対象活動範囲	浄化槽保守点検、一般廃棄物収集運搬、 産業廃棄物収集運搬、消防設備点検、管工事業
（４）対象事業所	本社、車庫

・ 組織図



・ 許可内容

許可名称 許可番号	許可年月日 許可有効期限	営業区域	許可品目
下水道処理施設維持管理業 処 27-734	2015 年 1 月 30 日 2020 年 1 月 29 日	広島県	
浄化槽保守点検業 県 63 第 1005 号	2015 年 11 月 18 日 2018 年 11 月 17 日	神石高原町	
浄化槽保守点検業 福 03 第 030 号	2015 年 11 月 18 日 2018 年 11 月 17 日	福山市	
建築物飲料水貯水槽清掃業 県 04 貯第 4192 号	2016 年 10 月 9 日 2022 年 10 月 8 日	広島県	
一般建設業　管工事 (般-29)第 27005 号	2017 年 7 月 28 日 2022 年 7 月 27 日	広島県	
消防設備点検		広島県	
一般廃棄物収集運搬業 第 176 号	2017 年 4 月 1 日 2019 年 3 月 31 日	福山市	固形状
産業廃棄物収集運搬業 第 3407033271 号	2015 年 12 月 14 日 2020 年 12 月 13 日	広島県	燃え殻, 汚泥, 廃油, 廃酸, 廃アルカリ, 廃プラスチック類, 紙くず, 木くず, 繊維くず, 動植物性残さ, ゴムくず, 金属くず, ガラスくず, コンクリートくず, 陶磁器くず, 鉱さい及びがれき類

・ 車輌種類と台数

車輌種類	車輌台数	車輌台数	車輌台数
浄化槽メンテナンス車	3 台	2t パッカー車	1 台
2t 吸引車	1 台	井戸ボーリングマシン	1 台
2t ダンプ車	1 台	高圧コンプレッサー	1 台
2t トラック	1 台	0.01 ㎥油圧ショベル	1 台

・ 環境関連技術者

水道技術管理者	甲種危険物取扱者
水道施設管理技士	1 級管工事施工管理技士
浄化槽管理士	1 級電気工事施工管理技士
浄化槽技術管理者	1 級土木施工管理技士
下水道第 2 種技術検定	1 級さく井技能士
下水道第 3 種技術検定	1 級ポンプ施設管理技術者
下水道管理技術認定（管路施設）	マンション管理士
建築物環境衛生管理技術者	管理業務主任者

・ 収集運搬実績

	産業廃棄物	一般廃棄物	合計
2015 年度	3.4 t	22.2 t	25.6 t
2016 年度	4.2 t	22.7 t	26.9 t
2017 年度	4.0 t	21.2 t	25.2 t

※積替え保管は含まない。

・ 廃棄物処理料金

収集運搬料金につきましては種類、重量、数量、運搬距離等の諸事情により異なりますので、当社にお問い合わせください。無料にて御見積りいたします。

連絡先（０８４７）５２－６５２５

環　境　方　針

　弊社は浄化槽のメンテナンス、廃棄物の収集運搬、水井戸ボーリング工事、給排水衛生設備工事等を業務としています。
私たちはますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社員一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

環境保全への行動指針

１．具体的に次のことに取り組みます。

① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
② 事業所の廃棄物の削減
③ 水資源の節水
④ 事務用品のグリーン購入
⑤ 地域の衛生保持と環境保全
⑥ 建設工事における循環資源の活用

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日　2009 年 6 月　1 日
改定日　2013 年 10 月 10 日

アシナ環境管理センター有限会社
代表取締役　土井　美智雄

・ 環境目標

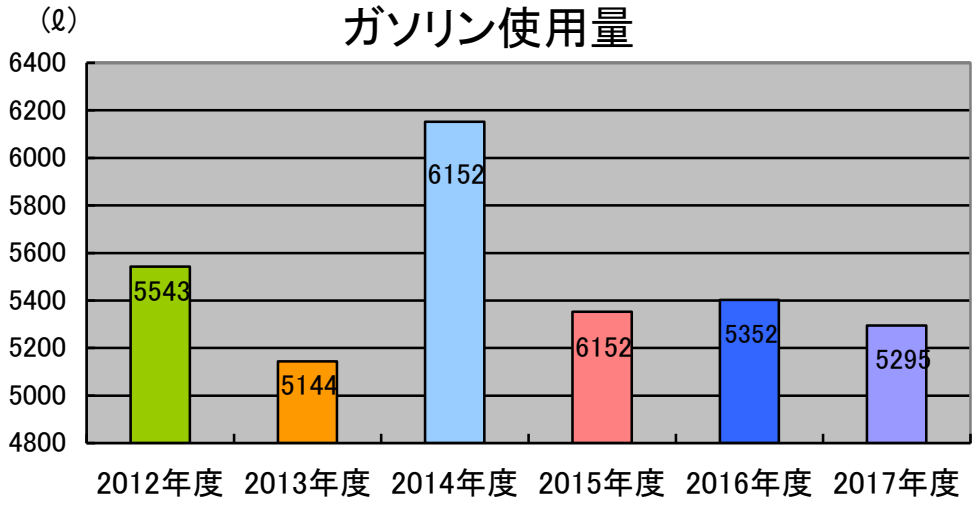
環境目標設定	責任部門	基準値 （基準年度）	2017 年度目標	2018 年度目標	2019 年度目標
電力使用量の削減	総務部	4,135kwh （2012 年度）	4,083.3kwh △1.25%	4,072.9kwh △1.50%	4,062.6kwh △1.75%
自動車燃料の削減	業務部 営業部	5,543ℓ （2012 年度）	5,473ℓ △1.25%	5,460ℓ △1.50%	5,446ℓ △1.75%
電力・自動車燃料に関する 二酸化炭素排出量の削減	全部門	14,431 kg-CO2 （2012 年度）	14,250 kg-CO2 △1.25%	14,214 kg-CO2 △1.50%	14,178 kg-CO2 △1.75%
一般廃棄物の削減	総務部	627kg （2012 年度）	619 kg △1.25%	618 kg △1.50%	616 kg △1.75%
使用水量の削減	総務部 業務部	140 ㎥ （2012 年度）	138.25 ㎥ △1.25%	138.25 ㎥ △1.25%	138.25 ㎥ △1.25%
グリーン購入	総務部	—	事務用品・作業服の購入		
地域の衛生保持と環境保全	業務部	—	収集運搬時の騒音抑制 収集運搬後の周辺確認・清掃		
建設工事における循環資源の活用	業務部	—	環境配慮製品の情報を収集する		

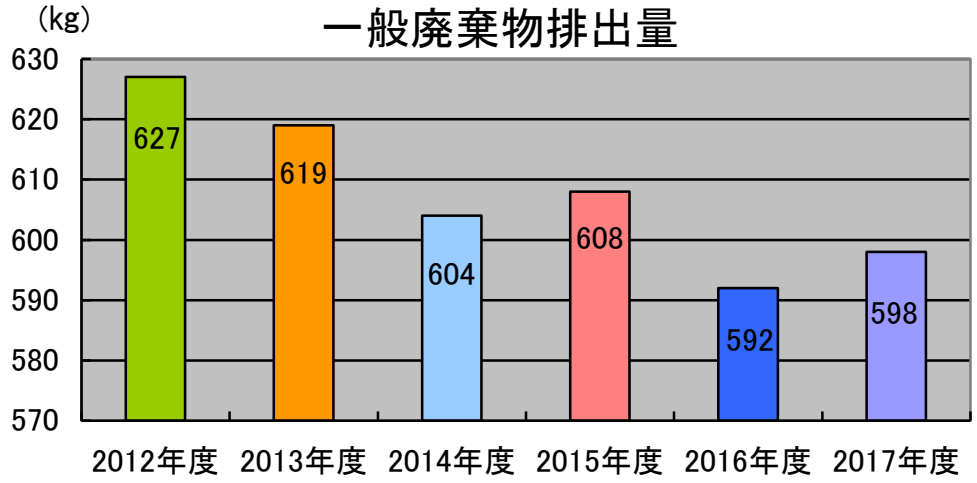
※化学物質は使用していません。

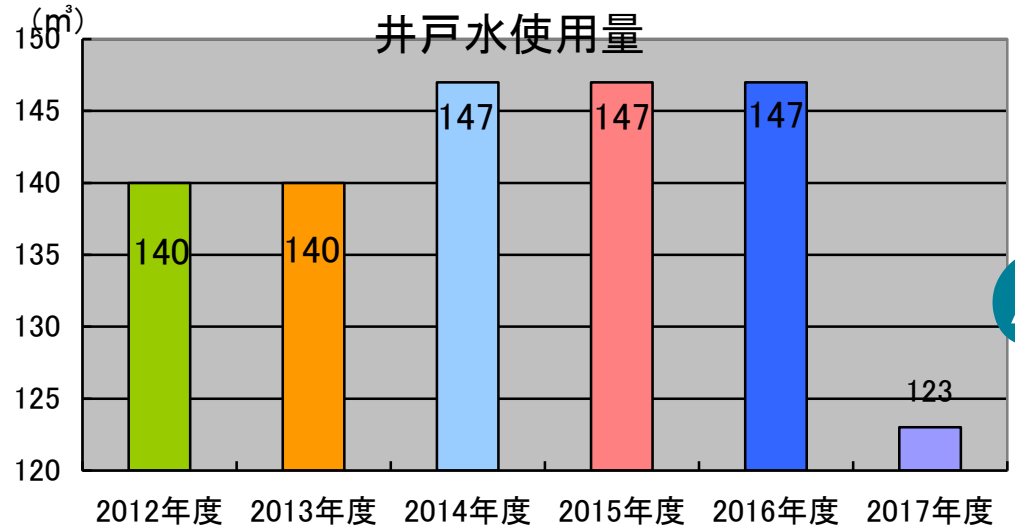
・ 環境活動計画

環境目標	責任部門	具体的取組手段
電力使用量の削減	総務部	・不要照明の消灯 ・クールビズ、ウォームビズの採用 ・冷房 28℃　暖房 20℃の設定、温度管理
自動車燃料の削減	業務部 営業部	・アイドリングストップ ・暖気運転の抑制 ・急加速運転の抑制 ・冷暖房の控え使用
一般廃棄物の削減	総務部	・裏紙の使用 ・ミスコピーの防止
減	総務部 業務部	・節水運動
グリーン購入	総務部	・事務用品、消耗品は可能な限り、エコ・グリーンマークの商品を選定し、その購入に努力する。
地域の衛生保持と環境保全	業務部	・苦情ゼロ
建設工事における循環資源の活用	業務部	・環境に配慮した資材の使用

・ 環境目標の実績


ガソリン使用量
(ℓ)
6400
6200
6000
5800
5600
5400
5200
5000
4800
5543
5144
6152
6152
5352
5295
2012年度
2013年度
2014年度
2015年度
2016年度
2017年度


一般廃棄物排出量
(kg)
630
620
610
600
590
580
570
627
619
604
608
592
598
2012年度
2013年度
2014年度
2015年度
2016年度
2017年度


井戸水使用量
(㎥)
150
145
140
135
130
125
120
140
140
147
147
147
123
2012年度
2013年度
2014年度
2015年度
2016年度
2017年度

・ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標設定	達成状況	評価	環境活動計画の取組結果と評価 次年度取組内容
電力量の削減	2017 年度目標 4,083kwh 2017 年度実績 3,997kwh	○	照明機器の部分使用やエアコンの適正管理が浸透している。 引き続き活動を推進します。
自動車燃料の削減	2017 年度目標 5,474ℓ 2017 年度実績 5,295ℓ	○	担当者が始業前点検を確実に行い、交通安全・公害防止に寄与しています。 引き続き活動を推進します。
二酸化炭素排出量の削減 （管理可能な電力とガソリン）	2017 年度目標 14,250 kg - CO2 2017 年度実績 13,804 kg - CO2	○	良い取り組みができています。 柔軟性を持って活動を継続していきます。
一般廃棄物の削減	2017 年度目標 619kg 2017 年度実績 598kg	○	整理整頓清掃を推進していることで、年々減少傾向にあります。 次年度も現状の活動を推進します。
使用水量の削減	2017 年度目標 138 ㎥ 2017 年度実績 123 ㎥	○	記録的な寒波があったが、漏水対策を施すなど、改めて意識の高さを実感できた。 次年度も活動を継続していきます。
グリーン購入	21 個 20 個	×	新商品の情報収集を強化し、購入コストと比較し活動を継続していきます。
地域の衛生保持と環境保全	4 回 4 回	○	地域の清掃活動に積極的に参加するなど、周辺住民との関係も良好です。地域社会に貢献できる活動と位置づけ継続していきます。
建設工事における 循環資源の活用	環境に配慮した資材の使用	○	納品業者から商品データを提供してもらい特性を理解し使用する。

・ 二酸化炭素排出量（総量）の実績推移

（電気・灯油・ガソリン・軽油を含む）

	2010 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
二酸化炭素排出量 （kg - CO2）	31,402 （基準）	16,211 （48.4%減）	16,701 （46.8%減）	16,546 （47.3%減）

（注 1） 本表は過去からの二酸化炭素排出量（総量）の推移を示しています。このため電力の二酸化炭素排出係数は 0.378kg - CO2／kwh（2004 年版ガイドラインの排出係数／全国共通）を使用しました。なお、2017 年度の二酸化炭素排出量を、中国電力の 2016 年度の排出係数 0.691kg - CO2／kwh を用いて算出すると、17,799 kg - CO2 となります。

・ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規名称	遵守事項	結果
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業の許可	○
	産業廃棄物収集運搬業の許可	○
	収集運搬車両への表示と書面備付け	○
	収集運搬管理帳簿の作成・保存・報告	○
	マニフェストの管理	○
	自社から排出される廃棄物の適正処理	○
浄化槽法	保守点検業の登録	○
	浄化槽管理士の設置	○
	帳簿の備付け	○
	標識の掲示	○
環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、法違反はありませんでした。 なお過去３年間、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟はありません。		

・ 代表者による全体評価と見直しの結果

項目	状況
環境目標の達成状況	全体を見回して、目標は達成できている。 未達成となったグリーン購入に関しては、大幅な増加は望めませんが、情報収集を強化するとともに、活動を継続していく。
法令等の遵守状況	遵守できている。
外部からの苦情要望	苦情等はなし。
改善の為の提案	現在のシステムを維持する。必要があれば修正等を加えながら、より完成度の高いシステムにしていきたい。
見直し、指示事項	環境活動に対する意識は着実に浸透しており、これまでの実績も評価しているが、一方では活動のマンネリ化を感じるのも事実です。 数値目標の結果だけに満足せず、常に問題意識を持ち、真摯に対応していく。

・　環境保全活動

周辺の美化活動を行いました。